

－北海道米でつくる－日本酒アワード 2025 開催概要（案）

1 目的

道産酒米と道産日本酒のブランド力や認知度向上を図ることを目的として開催する。

2 概要

道産酒米を使用して製造された日本酒（以下、「出品酒」という。）を対象に、一般消費者による評価を行い、この結果を出品者へフィードバックするとともに、評価の結果により賞を授与する。

3 主催

北海道日本酒アワード 2025 実行委員会

〔 構成団体：北海道酒米指定産地協議会、ホクレン農業協同組合連合会、
北海道酒造組合、北海道米販売拡大委員会、北海道 〕

4 日時・開催場所

(1) 日時

令和 7 年 5 月下旬

(2) 開催場所

札幌市内

5 出品

(1) 出品者の資格及び出品点数

道内で清酒の製造免許を受けている製造場（15 酒蔵 16 製造場）で、1 製造場につき 1 点出品することができる。

(2) 出品酒の条件

- ①北海道で育成された品種である「吟風」、「彗星」、「きたしずく」のいずれかを全量使用して製造した「純米大吟醸酒」、「純米吟醸酒」、「特別純米酒」、「純米酒」であること。
- ②四合瓶とし、価格の制限は設けない。なお、出品酒の代金は酒蔵負担とする。
- ③アワード開催時期に販売できる日本酒とすること（自社のオンラインショップも可）。
- ④常温での審査のため、要冷蔵のものは不可とする。

6 審査

(1) 審査員

一般消費者 300 名を目標とし、募集方法は別途決定する。

(2) 参加費

徴収する方向で検討する。

(3) 審査方法

・過去 3 回と同様、ブラインドでの審査とし、常温で提供する。

・評価区分等詳細は別途決定する。

基本は、「好き」、「嫌い」などを得点に結び付ける簡易な採点方法とする。

なお、種類の違いによる得点差を補正するため、購入価格マッチング加点（審査員が選択した価格帯と小売価格帯が一致した場合に加点）などの方法を検討する。

(4) 賞の授与

グランプリを含め 3 点程度を想定。これとは別にラベルデザイン賞を設ける。

7 表彰式

開催予定。詳細は別途決定する。

8 酒蔵 P R ブースの設置

アワードの会場内に、道内酒蔵による、一般消費者向けの P R ブースを設け、試飲・即売会を開催する方向で検討する。